

2020年6月24日

株主各位

会 社 名 株式会社コプロ・ホールディングス  
 代 表 者 名 代表取締役社長 清川 甲介  
 (コード番号：7059 東証マザーズ・名証セントレックス)  
 問 合 せ 先 管理本部長 倉 持 寛  
 TEL. 052-589-3066

## 第 14 回定時株主総会の質疑応答要旨について

2020年6月24日(水)第14回定時株主総会を開催し、延べ6名の株主さまから6件のご質問・ご提言をいただき、議長より回答を致しましたので、その要旨をお知らせいたします。

### 記

Q 1	決算説明会資料の動画において持続的成長をうたわれていたが、長期的ビジョンについて説明してほしい。
A 1	10年後に売上高1000億円、営業利益100億円を目指しております。国内の労働人口が減少する中、今年4月にシンガポールに設立した海外現地法人を起点として、周辺のASEAN諸国から若手の優秀な人材を国内に受入れ、国内の現場において仕事を通じて日本の高い建築技術を習得していただきます。その後、母国に帰国する際には日本で培った技術を活かし、現地で事業展開する日系ゼネコンに派遣し、母国の発展のために活躍いただけるようなスキームを構築し、成長を目指してまいります。
Q 2	社員の定着率アップの施策として、持株会をどのように浸透させていくのか説明して欲しい。
A 2	定着率は現在70%台だが82%を目指しております。持株会の概要を技術社員の一人ひとりに十分に伝えきれておりませんので、沢山の方に加入していただけますよう、しっかり伝えてまいります。
Q 3	社長の尊敬する人物および愛読書を教えて欲しい。
A 3	建設業を営む自身の父、坂本龍馬、他社の経営者を例示いたしました。

Q 4	社長が保有している発行済み株式に関し、流動性を高める施策について説明してほしい。
A 4	2020年5月28日に立会外分売を行いました。今後も流動性を高める施策を継続的に取り組んでまいります。
Q 5	技術社員の稼働率について説明してほしい。
A 5	稼働率は現在98%程度で推移しており、残る2%も有給消化している退職予定の方であったり、休職の方であります。予め待機労務費を予算化している会社もありますが、当社の場合は、上記を除き基本的には100%稼働しております。
Q 6	今年度上期はコロナの影響があるとされているが、減益となる理由を説明してほしい。
A 6	上場会社の約6割が業績を予測できないとされる中、当社は理論に基づいて開示しております。減益となる主な理由は、新型コロナウイルス対策費を予算化したこと、及び同一労働同一賃金に対応するために原価率が多少上がったことです。しかし、今後、原価上昇分はチャージアップにて対応してまいります。

以上